

第 30 回四極会立石山 登山

2018.11.11 (日)

今回の登山は 30 回記念で、宿泊登山である。

東京四極会からご参加の大 21 回生田中典明氏を含め 9 人が参加。

午前 7 時半、大分駅南口を車 3 台に分乗して出発。

高速大分 IC～由布岳 PA スマート IC 経由県道 616 号～617 号を安心院方面へ向かう。

湯布院町雛戸のコミュニティ・ユーバス塚原牧場バス停の空き地に 8 時 15 分到着。

快晴のもと、8 時 20 分過ぎ登山開始。塚原牧場の大きな黒いサイロ脇を通り、牧野を左へ笹原に分け入る。

霜解けで湿った落ち葉を踏みしめて進む。15 分余り歩いたところで小休止。所どころ笹藪をかき分けカヤをかき分け進む。9 時前メンヒルに通じる急坂口を右手にみて進む。処々に紅葉がきれいで秋を感じる。左後方には由布岳の雄姿が見える。9 時 20 分過ぎ杉林を前にして 6～7 分の小休止をとり、杉林の登山道を登る。次第に杉に松や落葉樹が混じってくる。落ち葉を踏みしめてのぼり、9 時 39 分



尾根上に到達。空は晴れて空気は冷涼。小休止の後尾根上を左へ辿り、斜面を直登。右手間近に小ピークの稜線が屏風のように連なっている。ヒンヤリした空気のもとゆっくり登り、10 時 20 分過ぎ三角点のある標高 1059m のピークに着く。

更に尾根上を西方に辿り、下りや登りの後 10 時 29 分立石山 (標高 1070m) 頂上に到着。

好天のもと間近に由布岳、遠くに城ヶ岳や雨乞岳が望めた。

少々早いがここで昼食を摂りしばし歓談。丸井夫人お手製のおやつをいただき一同感謝。

11 時 10 分下山開始。来た道を引き返し、11 時 37 分小休止の後、やせ尾根を辿り、東方へ。

東北に見えるピークの手前をテープにしたがい右斜面に下る。小ピークを二つ越えて右下方へ。

途中でザックを置いて立石山の謂れであるメンヒルを拝みに急坂を下る。急斜面の途中左手に



大きな岩が屹立。上から見ると 4～5m、根元から見上げると 10m 程ありそう。

暫く眺めてザックの所へ戻り休憩。川柳や駄洒落が飛び交い笑いをさそう。

12 時 40 分下山再開。斜面を西に少し戻り緩斜面を下り、カヤ原、雑木林に分け入る。

1 時 25 分牧野の草原に出てしばし景観を楽しむ。前方左方に雛戸山、正面に伽藍岳、右へ内山、倉ヶ戸が連なる。青空に涼風が吹き、雄大な景色に癒される。

ここで、またお手製のスイートポテトをいただき感謝。

20 分余り大自然を満喫し、2 時過ぎ、車に帰着、宿舎に移動する (途中で帆足先輩は帰宅)。

2 時半過ぎ、今宵の宿日本文理大学湯布院研修所に到着。ログハウスが洒落ている。

早速、湯量豊富な温泉で身体をほぐし、夜は8人で宴会と二次会を楽しんだ。



翌日朝食の後解散す。

今回は残念ながら少人数であったが、体力的には
楽な登山で、天候に恵まれ紅葉も楽しめた山行であ
った。幹事さんありがとうございました。

(参加者：帆足三郎(大13回)、加藤英彦、塩月靖
浩(大14回) 丸井弘美(大16回) 夫妻、井上理
(大16回)、高橋秀武、田中典明(大21回) 佐々
木信之(大33回))

(記録：井上)